

家長 山下 定八
妻 トモヨ
弟 宗一

右伯國渡航ノ件ニ関シ本年十月九日付通送第六八四二号通商局長通牒ニ本ツキ取調候処右家族ハ明治四十五年四月元移民取扱人竹村与右衛門取扱第三回移民トシテ伯刺西爾國渡航出発ニ際シ右宗一ハ宿痼タル胃病俄ニ発シ到底渡航覺束ナキヲ以テ家長定八ト協議ノ上其渡航ヲ中止シ弟只七ヲシテ宗一ト詐称セシメ渡航シタルモノニ有之犯跡確証ヲ得事件ハ所轄検事局ヘ送致候処本月三日不起訴処分ト相成候条顛末ヲ叙シ山下定八兄弟連署ニ係ル別紙上申書相添ヘ此段及報告候也

大正六年十二月十二日

熊本県知事 太田 政弘 (印)
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

三六七 十二月二十八日 本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛
氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人山下只七ニ関スル件

通送第六七号

本件ニ関シ本年八月二日付通公第八八号ヲ以テ御申越ノ次第有之候ニ付ソノ旨関係官庁ヘ照会致置候処今回別紙写ノ通り同庁ヨリ回報有之候ニ付右様御承知ノ上可然御取計相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲ノ十二月十二日附熊本県知事来信保移乙第一二四三号写ナリ省略ス

事項一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所属船舶抑留關係一件

三六八 一月十三日 在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
本野外務大臣宛

在加州近藤政治経営ノ漁業会社所属船垂細亜
号拿捕事件ニ関シ在墨国太田臨時代理公使ヘ
ノ回報写送附ノ件

附屬書 一月十一日大山領事發在墨国太田臨時代理公

使宛墨公第一号写

公第八号 (二月五日接受)

大正六年一月十三日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本件ニ関シ在墨国太田臨時代理公使ヨリ客月拾九日附羅領公第一一号ヲ以テ照会越候ニ付本月十一日附公第壹号拙信ヲ以テ回答致置候間御参考ノ為玆ニ該写差進候 敬具

追テ太田代理公使発羅領公第一一号写ハ同官ヨリ閣下ヘ提出済ノ趣ニ付添附ヲ省略致候

註 本件ニ付テハ日本外交文書大正五年第一冊四二七文書参照

一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所属船舶抑留關係一件 三六八

(附屬書)

一月十一日大山領事發在墨国太田臨時代理公使宛公信寫

墨公第壹號

大正六年一月十一日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎

在墨国臨時代理公使 太田爲吉殿

在「サンデーゴ」「エム、ケー」漁業會社船「アジ

ヤ」號ガ墨國下加州沿岸ニ於テ拿捕セラレタル件

本件ニ關シ客月拾九日付羅領公第一一號ヲ以テ御申越之趣敬承致候右ニ對シテハ豫テ本人ニ對シ説明ノ爲當館ニ出頭ヲ求メ置候處同人ハ客年ヨリ引續キ墨國ニ赴キ目下「マサ

トラン」ヨリ「ガイマス」方面ニ向ヒ旅行中ニテ来ル貳拾

日頃ナラデハ「サンデーゴ」ニ帰還セザル趣ニ有之候處今

回御問合ノ次第モ有之候間假ニ代理人ノ出頭ヲ命シ候結果

中村四郎ナル者同會社員ニハ非ザルモ近藤トノ事業關係上

割合ニ本件ノ内情ヲ承知セル趣ニテ同人當館ヘ出頭致候間

御来示ノ諸点相尋ネ候處別記ノ通同人ヨリ答弁致候間御閱讀相成度猶近藤墨國ヨリ歸來當館ニ出頭ノ節ハ更ニ取調ヘ其結果御報知可致候間同様御承知相成度此段一應回答申進候 敬具

本信寫送付先 外務大臣

(別紙)

一、近藤ハ須沢ガ墨国政府ヨリ漁業權ヲ獲得シタルハ日本人トシテ出願シ日本人トシテ許可セラレタル者ト思考シタルモノニテ同人ガ帰化ノ手續ヲ為シ居リタリトノ事ハ客年十一月二十九日付近藤宛須沢ノ書翰ガ同年十二月十四日会社ニ到着シ会社ニ於テモ始メテ其事実ヲ知ルニ至レルモノナリ

二、会社ガ「カンツ」知事ヨリ海藻採取ヲ禁セラレタルハ多分客年拾月中ト記憶セラルルガ会社ニ於テハ爾來其事業ヲ中止シ居リタルモノニテ同知事モ海藻採取ヲ以テ捕獲ノ理由トハナシ居ラス現場ヨリノ報告ニ拠レバ當時巡邏船ノ船長ヨリ「アジア」号ガ鮑ヲ捕獲シタル事実ヲ認メタルニ付同船ヲ拿捕スベシト告ゲタル由ナルガ会社ハ曩ニ海藻採取業開始ト共ニ鮑ノ捕獲ヲ中止シ海藻採取

中止後モ矢張り鮑ヲ捕獲シ居ラザリシモノナリシニヨリ「アジア」号船員ハ其不法ナル事ヲ抗議シ現ニ同船ガ乾燥シ居レル事実ヲ指摘シ久敷休止中ノ事実ヲ申立テタルモ船長ハ其抗議ヲ容レズ「アジア」号ヲ曳去レリ即チ会社ノ訴ヘハ海藻採取權取消ニ對スルモノニ非スシテ地方官ノ不法ナル拿捕行為ニ對シ中央政府ノ保護ヲ仰キタシトノ意味ナリ

三、会社ハ當時事業ヲ中止シ「タートル」灣内ニ繫泊シ居リタルノミナルガ「カンツ」知事ニ於テハ其當時同知事ニ屬スル唯一ノ巡邏船ナリシ「エンセナダ」号ガ甚シク破損シ居リ「サンデーゴ」ニ送りテ修繕スベキ必要アリタルヲ以テ代用船トシテ一時「アジア」号ヲ徵發スル為初メヨリ計畫シテ是ヲ拿捕シタルモノナルベク現ニ「アジア」号(大サ約五屯參拾馬力)ノ側ニハ日本丸ト稱スル会社船アリタルモ同船ハ拾馬力位ノ小形船ニテ巡邏用ニ適セザル為拿捕セラレザリシノミナラズ「アジア」号拿捕ノ後「エンセナダ」号ハ直ニ「サンデーゴ」ニ送り之ヲ修繕シタリト聞ケリ

四、「アジア」号ノ船籍ハ「エンセナダ」ニアリ

五、「カンツ」知事ノ管轄ハ北緯貳拾八度以北ニシテ夫

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿
公信寫送附

ヨリ南ハ「ラパス」駐在知事ノ管轄ニ屬シ「タートル」灣ハ北緯貳拾七度四拾分ナレバ「ラパス」知事ノ管轄内ニアルモ實際ハ「カンツ」ノ勢力範圍内ニアリ

墨國下加州沿岸ニ於テ亜細亞號ガ拿捕セラレタルノ件ニ關シ別紙ノ通り在墨國臨時代理公使ヘ申進候間御參考迄ニ該寫茲ニ及御送附候 敬具

(附屬書)

一月二十九日大山領事發在墨國太田臨時代理公使宛公信寫

墨第貳號

大正六年正月貳拾九日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎

在墨國臨時代理公使 太田爲吉殿

三六九 一月二十九日 在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
本野外務大臣宛

墨国官憲ノ亜細亞号拿捕ニ關シ近藤政治提出
ノ申立書寫送付ノ件

附屬書 一月二十九日大山領事發在墨國太田臨時代理
公使宛墨第二号寫

公第一八号

(二月二十四日接受)

大正六年一月二十九日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎(印)

認メサセ置候間御閱讀相成度此段申進候 敬具

(別紙)

近藤政治申立書写

一、「アジア」号捕獲ノ表面ノ理由ハ鮑ヲ密猟シタリト云フニアリ、之レハ曩ニ「カランサ」政府ヨリ漁業権ヲ剥奪セラレタル「ラペスカドラ」会社ガ「カンツ」政府ヨリ漁業権ヲ保護サレ居ル關係上同会社ヨリ「エンセナダ」税関ニ訴ヘ「アジア」号ヲ捕獲セシメタルモノニテ其内情ハ約参年前「ラペスカドラ」会社々長「サンドバル」Sandoval ガ拙者ヨリ千歳丸ナル帆船ヲ参千弗ニテ買受ケ約参ケ月間漁業ノ為同船ヲ使用(航海里数千四百哩以上)シタル後「タートル」灣ニ繫留中暴風雨ノ為破損シタルモノヲ拙者ニ返却ヲ申出デテ拒絶セラレタルニ付「サンドバル」ノ支配人 Salazar ヨリ不法ナル訴訟ヲ提起シ拙者ノ銀行勘定ヲ差押ヘタルガ「デボジション」Deposition ニ於テ判事取調ノ結果該訴訟ノ理由ナキモノタルコト明トナリ「サラザル」ハ該訴訟ヲ自ラ撤回セザルベカラザルニ至リタルコトアリシガ「サンドバル」ハ之ヲ含ミ其報復手段トシテ「カンツ」ヘ運動ノ結果

報ノ如シ

大正六年七月式拾九日

近藤政治

三七〇 五月五日

在墨国太田臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

墨国官憲ノ近藤政治所有亜細亜号抑留ニ関シ

墨国外務省ト交渉ニ付報告ノ件

附屬書一 一月十八日墨国外務大臣ヨリ太田臨時代理

公使宛回答文

- 二 二月十六日在墨国太田臨時代理公使ヨリ在
ロサンゼルス大山領事宛羅領公第一号写
- 三 在ロサンゼルス大山領事ヨリ在墨国太田
臨時代理公使宛墨第五号写
- 四 三月二十三日近藤政治発在墨国太田臨時代
理公使宛書面写
- 五 四月十七日在墨国太田臨時代理公使発墨国
外務大臣代理宛書翰写

公第一一五号

(六月十四日接受)

大正六年五月五日

在墨臨時代理公使 太田 為吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本件ニ関シテハ客年十二月十九日附公第一九七号拙信ヲ以

一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所屬船舶抑留關係一件 三七〇

今回ノ挙ニ出デタルモノナラント思ハル但「エンセナダ」号ハ「アジア」号引率ノ途中破損シ其後「アジア」号ヲ巡邏用ニ使用シタルハ事実ナリ

二、「アジア」号ノ船籍ハ寧ロ米國ニアリト見ル方至当ナラン何トナレバ米國法律ニヨレバ参拾屯未滿ノ船ハ之ヲ登記セザルコトナリ居ル為亜細亜号モ何等登記シ居ラザルニ付船籍米國ニアリト云ヒ得ルヤ否ヤハ不明ナレトモ同船ハ加州「サンピドロ」港ニテ日本人船大工ノ造リシモノヲ拙者ニ於テ買受ケタルモノニテ其墨国ノ領海ニ入リシハ参ケ年以前ニシテ其際ハ正式ニ「エンセナダ」港ヲ經由シ同港税関ノ許可ノ下ニ客年六月参拾日迄漁業ニ従事シ同日以後ハ漁業ヲ休止シ其後七月半ヨリ開始シタル海草採集モ八月末頃之ヲ止メ居リタルモノナリ

三、拙者ハ須沢名義ノ Permit 写ニ対シ在「サンデゴ」墨国領事ノ査証ヲ受ケ之ニ「カランザ」政府ノ承認セル須沢ヨリ拙者宛ノ委任狀ヲ添付シタルモノヲ地方官憲ニ提示シ漁業權行使ノ承認ヲ求メタルモノナリ但右ニ対シ「マグダレナ」税関ハ之ヲ承認シタルモ「カンツ」ノ監督スル「エンセナダ」ニ於テハ之ヲ承認セザリシハ前

テ縷々及報告置候処当国外務省ハ右拙信附屬別紙第二号ノ附屬別紙乙号(千九百十六年十二月十五日附当国外務省宛本官公文第五七号)公文ニ対シ本年一月十八日ニ至リ別紙写第一号ノ通り當時移轉中ノ「ケレタロ」市ヨリ本件漁船ガ抑留セラレタルハ密輸出及密漁ノ罪ヲ以テ理由トセルモノナル旨低加聯邦領北区长「カンテュー」大佐ヨリ回電アリタル趣回答アリ本官ニ於テハ本件ガ到底満足ナル解決ヲ得ザル迄モ之ニ対シ一応同省ヘ照覆シ置クノ必要ヲ感ジタルモ何分被害者ノ申立ニハ種々要領ヲ得ザル点アリタルニヨリ更ニ在羅府領事ニ別紙写第二号ノ通り照会シ別紙写第三号及第四号並ニ反証トナリ得ベキ關係書類ヲ得タル上客月十七日附ヲ以テ更ニ当国外務省ニ向ケ別紙第五号ノ通り申込置キ候間委曲右ニ就キ御承知相成度尤モ低加聯邦領地方ニハ中央政府ノ政令未ダ全ク行ハレザル実情(客年八月二十八日附公第一一六号参照)ニテ本件ハ容易ニ樂觀シ難キコト嘗テ本件ノ始メニ於テ大山領事宛電報(前記公第一九七号附屬第一号)ニ於テモ一言セシ通りニ有之、其後ニ於テモ当国外務次官ヨリ同様ノ弁疏アリタル次第ニテ当方主張ノ筋合ハ好シ之ヲ承認スルトスルモ差当リ現物ノ返還

ヲ為サシムルハ容易ノ業ニアラズ從テ寧ロ交渉ハ此ノ程度
ニ止メ後日損害賠償請求ノ基礎ト為スヨリ外ナカラシカト
モ被存候、何レ今回ノ照会ニ對シ当国政府ヨリ何等回答差
シ越シ候節ハ更ニ可及報告候得共右不取敢一応貴聞ニ達シ
置キ候 敬具

註 太田臨時代理公使ノ大正五年八月二十八日附公第一一六号
ハ同年外交文書第一冊第四二六文書

(附屬書一)

(公第一一五號附屬別紙第一號)

一月十八日墨國外務大臣ヨリ太田臨時代理公使宛回答譯文

墨國外務省政務局國際課第一一七號

千九百十七年一月十八日

「ケレタロ」市ニテ

外務大臣「セ、アギラール」

在墨日本國臨時代理公使 太田爲吉貴下

亜細亜號抑留ニ關スル件 (譯文)

以書翰致啓上候陳者是迄數回當省ニ宛テラレタル貴翰ニ關
シ、低加聯邦北區長「エスデバン、カンテュー」大佐ハ本
月十三日附電信ヲ以テ日本臣民近藤政治ノ所有ニ係ル漁船
「亜細亜」號ハ密輸出及密漁ノ廉ヲ以テ抑留セラレタル趣

ノナリト有之候得共

一、右領事ノ查證ヲ受ケタルハ單ニ許可書ノミニシテ委
任状ニ及バザリシヤニ解セラル、然レトモ問題ノ要點
ハ寧ロ委任状ニ查證ヲ受ケタルヤ否ヤニアルヲ以テ此
ノ點今一應正確ニ取調ラレタク

二、果シテ右委任状ニ查證ヲ受ケタリトセバ其日附等モ
確實ニ記載シアルヲ要スルハ勿論少クトモ該書ノ寫位
ハ當國政府ニ對スル交渉ニ際シ證據トシテ必要ナルニ
付キ御回送相成リ度キ事

三、凡テ此等ノ書類ニ對シ地方官憲ノ承認ヲ得タリト云
フモ何時如何ナル官憲ニヨリ承認セラレタリヤ確實ニ
知ルヲ得ザルニ付キ此ノ點モ明瞭御調相成度事尚此ノ
外

四、客年貴電第四號ニヨレバ漁獲輸出ニ關シ通關手續ヲ
省略シタルコトナク云々トアルモ同年十一月十八日附
墨第一六號貴信添付ノ具陳書前段ノ事實等ハ「カンテ
ュー」ニ於テ密輸出ヲ推定スベキ材料トナル傾アル
處、從來海藻ノ積出其他漁獲物ノ輸出等ヲ爲シタルコ
トアリトセバ之ニ對シ正當ニ積出手續ヲ済マシタル證

一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所屬船舶抑留關係一件 三七〇

回報致越候右御承知置相成度此段不取敢回答申進候
本大臣ハ此ノ機ニ乗ジ玆ニ貴下ニ向ツテ重ネテ敬意ヲ表シ
候 敬具

(附屬書二)

(公第一一五號附屬別紙第二號)

二月十六日在墨國太田臨時代理公使發在「ロスアンゼルス」大
山領事宛公信寫

羅領公第一號

(別紙添付)

大正六年二月十六日(但シ別紙ハ本信別紙第一號ナリ)

在墨臨時代理公使 太田 爲 吉

在ロス、アンゼルス領事 大山卯次郎殿

亜細亜號抑留ニ關スル件

本件ニ關スル墨國外務大臣宛本官書面ニ對シ先般別紙譯文
ノ通り同大臣ヨリ回答有之、貴信ヲ俟ツテ何分ノ義更ニ申
入ルル筈ナリシモ本月十五日接手セル客月二十九日附墨第
二號貴信御添付ノ近藤申立書中須澤名義ノ許可書寫ニ對シ
在「サン、ディエゴ」墨國領事ノ查證ヲ受ケ之ニ「カラン
サ」政府ノ承認セル須澤ヨリ近藤宛ノ委任状ヲ添付シタル
モノヲ地方官憲ニ提示シ漁業權ノ行使ノ承認ヲ求メタルモ

據アリヤ、換言セバ密輸出ノ嫌疑ヲ排除スベキ材料ア
リヤ

五、從來ノ貴電及貴翰ニヨレバ亜細亜ガ「タイトル」灣
ニ居リタルハ海藻採取ノ爲メニモアラズ又漁業ノ爲メ
ニモアラザルガ如キ觀アル處右ハ如何ナル目的ヲ以テ
同灣ニ行キ居リタルモノナリヤ

等ノ点モ不明ナル爲メ當國政府ニ對スル其後ノ交渉ハ差控
居リ候間至急右ノ諸点御回報相成度此段及照會候也

註 一月二十九日附墨第二号ハ同日大山領事發本野外務大臣宛

公一八号ノ附屬書ナリ

(附屬書三)

(公第一一五號附屬別紙第三號)

在ロスアンゼルス大山領事ヨリ在墨國太田臨時代理公使宛公信
寫

墨第五號

(別紙添付)

在ロスアンゼルス領事 大山卯次郎(印)

在墨臨時代理公使 太田爲吉殿

亜細亜號抑留ニ關スル件

本件ニ關スル一月二十九日附墨第二號拙信添付ノ近藤申立
書中不明ノ点ニ對シ取調方客月十六日附羅領公第一號ヲ以

テ御照會ノ趣了承致候即近藤ヨリ別紙寫ノ通り申立書ヲ徵シ玆ニ及御送附候間委細右ニ依リ御承知相成度此段回答申進候 敬具

(別紙)

近藤政治申立書

(写) (許可証及委任状各一通添付ス)

大正六年三月六日

(本信右添付略ス)

在「ロス、アンゼルス」

近藤 政治

領事 大山卯次郎殿

今回在墨国代理公使閣下ヨリ御照會有之候亜細亞号抑留ニ関スル件次ニ御回答申上候太田代理公使閣下ニ宜シク御回送御願申上度之ト同時ニ閣下ノ尽力ニ対シ小生深ク感謝致居リ候条、御鶴声被下候得バ幸甚之至リニ候
一、須沢氏委任状ノ件、別紙漁業許可書査証ニ有之候通り会社船「ラモナ」号ヲ漁獲物積取(後項参照)ニ際シ昨年十月四日在「サンデエゴ」墨国領事ヨリ漁業許可書ト共ニ委任状ノ査証ヲ求メ両者共ニ之ヲ「マグダレナ」税関長ニ提示シ其承認ヲ得タルモノナルハ別紙ノ示ス所ニ候

一、小生ヨリ提出ノ答弁等ニ墨国官憲トアルハ在「サンデエゴ」墨国領事及「マグダレナ」墨国税関長ノ意義ニ有之候

一、同許可書ハ曾テ昨年八月ノ候低加州北部知事「カンテュー」大佐ニハ同秘書官「アセベス」ノ手ヲ経テ許可書承認ヲ乞ヒタルモ之ヲ承認セザルヲ以テ之ヲ行使スルコトヲ得ズ為メ在「サンデエゴ」墨国領事ト相談スル所アリ遂ニ十月四日船ヲ「マグダレナ」ニ派シ南部低加州「マグダレナ」税関長ノ承認ヲ経タルモノニ候

一、通関手續云々、本社ハ昨年六月三十日ニ至ルマデ「サンドバル」氏社長タリシ「ラ、ペスカドーラ」会社トノ契約ニヨリ千九百十二年二月ヨリ約四ヶ年半漁業ニ従事シ殊ニ「タータル」灣ニ於テ採鮑ニ従事シ居リシモ須沢氏漁業許可書獲得ノ報ニ接シタルト共ニ「ラ、ペスカドーラ」会社ハ正式ニ三月十五日「カランサ」政府ヨリ漁業特權ヲ剥奪サレ漁業權ヲ有セズ、只「カンテュー」大佐ノ保護ノ下ニ漁業權ヲ行使シ居ルモノナルヲ発見シタルヲ以テ六月卅日「ラ、ペスカドーラ」会

リシニヨリ同領事ノ助言ニ從ヒ「マグダレナ」税関ヲ通ジ十月中旬右乾鮑ヲ輸出シ之レガ輸出税ハ「マグダレナ」税関ニ支払正式ノ手續ヲ了シタルモノニシテ之レガ受領証ハ念ノ為メ写真ニトリ之ヲ「エンセナー」税関長宛回送シアルヲ以テ「カンテュー」大佐モ当然之ヲ知ルナルベク小生ノ採リタル行動ハ至当ノモノト確信罷在候、海藻灰ニ付テハ特ニ「カンテュー」大佐ノ許可書ニ基キ一度「エンセナー」税関ヲ經由シ尙俟タリトモ同税関手續ヲ經由セザルモノ断シテ無之候

一、亜細亞号ノ「タータル」灣ニアリタルハ六月三十日迄ハ採鮑ニ従事シ後「カンテュー」大佐ノ許可書ニヨリ海藻採取ニ従事シ同大佐海藻許可書ヲ中止シタル以後拿捕セラルルニ至ル迄ハ須沢氏漁業許可書ノ復活ヲ俟チ居リシモノニシテ猶前陳ノ通り六月三十日ニ至ル間ニ採取セル鮑肉ノ乾燥ハ約三ヶ月ヲ要スルト共ニ「タータル」灣ハ過去三ヶ年間本社ノ絶エズ漁業ニ従事シ居リシ処ニテ鮑介、鮑肉其他諸種ノ材料頗ル多量ニテ漁業並ニ海藻採取中止後ト雖モ十名以上ノ人員鮑肉乾

燥ト共ニ諸品ノ監視ニツトメ之ト同時ニ前記漁業権ノ承認ヲ待チツツアリ「アジャ」号ハ飲料水欠乏ノ時ハ「タータル」灣ヨリ西北四十哩ノ洋中ニアル「セドラス」島迄飲料水採取ニ使用スルコトアリ本社ヨリ四百哩ヲ隔テ不毛ノ地ニアル使用人ノ最モ恐ルル処ハ飲料水ノ供給ニアリ、本社船「ラモナ」号「サンデエゴ」ヨリ多数ノ木樽ニヨリ之ガ運搬ヲナスヲ常トスルモ天候又ハ他ノ都合ニヨリ之ガ供給意ノ如クナラザルコトナキニアラザルヲ以テ之ニ備フルニ二三ノ動力船ヲ漁場ニ繋留シ置クハ絶対ニ必要ナルモノニ候要之亜細亜号其他ノ船ハ漁業権ノ承認ヲ俟ツト共ニ飲料水ノ欠乏補充用ニアテタルモノニ候

一、前記ノ記リ乾鮑ノ輸出ハ「マグダレナ」税関ニ於テ其手続ヲ為シタルモノニシテ其際同税関ヨリ受取りタル輸出税受取証ハ「サンデエゴ」本社ニ保管シアレバ婦社ノ上直ニ可致提出候 敬具

(附屬書四)

(公第一一五號附屬別紙第四號) (別紙添付略ス)
三月二十三日近藤政治發在墨國太田臨時代理公使宛書面寫

大正六年三月二十三日

エム、ケー漁業會社

代表者 近藤 政治

在墨國日本帝國代理公使 太田爲吉閣下

謹啓閣下愈々御清勝被爲涉候段奉慶賀候

本社ノ事業ニ就テハ毎々御高配ニ預リ深謝ノ至リニ奉存候本社漁業船亜細亜號ノ「エンセナダ」港ニ抑留セラレ候件ニ就テハ公務御繁忙ノ折柄ニモ拘ラズ一方ナラヌ御高慮ヲ煩ハシ恭ク奉深謝候右ノ件ニ付キ御照會相成候義ニ付テハ先般羅府駐在帝國領事大山卯次郎殿ヲ通シテ委細御報告申上置キ候得バ御了承被成下候事ト奉存候、當時本社所有船「ラモナ」號ガ低加州ヨリ鮑乾肉輸出ニ對シ「マグダレナ」港税関ヨリ受取り申候該鮑肉ノ輸出税領収書御送附仕ル様申上置候處本社書記ノ不注意ニ依リ御送附方忘却致シ居リ候事本日發見致シ唯々恐縮罷在候不都合ノ罪誠ニ御申譯無御座候、何卒御赦シ被下度幾重ニモ奉謝候、右領収書本日同封御送附申上候間御查收被成下度奉願上候、御用相濟ミ申候ハバ誠ニ御手数恐縮ノ至リニ御座候へ共何卒御送還被成下度奉願上候

猶此上ナガラ閣下ノ御配慮ニ預リ申度奉懇願候 敬具

(附屬書五)

(公第一一五號附屬別紙第五號) (別紙譯文添付)
四月十七日在墨國太田臨時代理公使發墨國外務大臣代理宛書翰寫

公第三二號

(別紙略ス)

千九百十七年四月十七日

在墨臨時代理公使 太田 爲吉

墨國外務大臣代理次官法學士

エルネスト、ガルサ、ベレス閣下

亜細亜號抑留ニ關スル件(原文)

以書翰致啓上候陳者本年一月十三日低加聯邦領北區長「エステバン、カンテュー」大佐ハ日本國臣民近藤政治ノ所有ニ係ル漁船ガ當該官憲ニヨリテ抑留セラレタルハ密輸出及密漁ノ罪ヲ理由トスルモノナルコトヲ電報ニテ前外務大臣「アギラール」將軍ニ報告セシ趣同大臣ヨリ同月十八日附在「ケレタロ」市貴省國際局合第一一七號信ヲ以テ御回報有之正ニ接受致候

該貴信接受ノ後數日ニシテ本官ハ貴省ニ於テ當時ノ外務次官「シエール」氏ニ面談候處同官ハ其談話中「カンテュー

」大佐ハ本件ニ關スル詳細ヲ郵報シ來ル旨被爲附言候間貴省ニ於テハ既ニ右ニ關スル詳細ヲ知悉セラルル事ト存候得共未ダ客年十二月十五日附公第五七號拙信ニ對スル御回答ニ接スルヲ得ザル爲メ更ニ本信ヲ認ムルニ至リタル次第ニ有之候

而シテ本件ニ於テ漁船ガ抑留セラレタル事實其自體ハ前頭當該官憲ノ附シタル理由ヲ當然推測セシムルモノナルト同時ニ本官ガ前頭第五七號拙信ニ於テ知ラント欲セシ所ハ抑留ノ理由トナリシ罪名如何ニアラズ、右ノ犯罪ヲ證明スル事實其モノニ有之、若シ斯ル抑留ヲ證明スル原因ノ存在セザル場合ニハ直ニ該船ヲ持主ニ返却セラレンコトヲ希望セル次第ニ有之候

而シテ「カンテュー」大佐ヨリ貴省ニ送リタル報告ノ内容ガ充分近藤ノ罪ヲ證明スルニ足ルモノト貴省ニ於テ判斷セラルル場合ニ於テハ年御手数數右ノ報告本官迄御示相成リ度ク左スレバ本官ハ近藤ニ向ツテ事情ヲ説明シ何等要求ノ餘地無キ事ヲ承知セシメ得ル次第ニ有之候、而シテ若シ又事實ガ全ク之ニ反シ斯ル罪責無キモノト斷定セラルル場合ニ於テハ本件漁船ハ至急所有者ニ返還スル様、該地方官憲

ニ御命令相成度切望致候

最後ニ本官ハ閣下ガ本件ヲ明細ニ御了解相成ル爲メ且ツ又當館ノ蒐メタル報告ニ據レバ本件ハ決シテ密輸出又ハ密漁等ノ刑事事件ニ關スルモノニアラザルモノナルコトヲ今一應貴聞ニ達スル爲メ玆ニ左記ノ事項ヲ記入スルコト致候

記

一、「ガソリン、ボート」ノ持主近藤政治ハ曩ニ憲政軍政府ヨリ正當ニ漁業許可ヲ得タル須澤豊一郎ノ代理者トシテ低加聯邦領水ニ於テ漁業ニ從事シ居ル者ニシテ其委任ニ付テハ別紙第一號ノ通り客年七月十七日附ヲ以テ本人即チ須澤ヨリ之ヲ農商務大臣ニ通知シ、次テ代理人近藤ハ許可書及委任狀ニ北米合衆國加州「サン、デイエゴ」駐在墨國領事ノ查證ヲ受ケ低加領「マダレナ」港ヲ輸出港トナシ居リタル事ハ別紙第二號第三號及第四號ニテ御承知相成ル通りニ有之候、尤モ「カンテュー」大佐ハ許可證及委任狀ノ何レヲモ承認スルヲ好マザリシ由ニ候

二、本件「ボート」ガ低加聯邦領北區官憲ノ爲メ拿捕セラレシハ給水ノ爲メ「タートル」灣ニ碇泊中ナリシモ

通公信第一八三号

(九月三日接受)

大正六年八月一日

在墨臨時代理公使 太田 為吉 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

「ガソリン、ボート」亜細亜号抑留ニ關スル件

本件ニ關シテハ本年五月五日附公第一一五号拙信ヲ以テ及報告置タル次第有之候処其後ノ成行ハ別紙在羅府大山領事宛拙信写ノ通りニ有之候間御承知相成度此段及追報候敬具 (附屬書)

七月二十六日在墨國太田臨時代理公使發在ロスアンゼルス大山

領事宛

羅公信第四號(寫)

大正六年七月廿六日

在墨臨時代理公使 太田 為吉

在ロスアンゼルス領事 大山卯次郎殿

亜細亜號ニ關スル件

本件ニ關シ當國國務省ト交渉次第ハ屢次ノ拙簡ニテ御承知ノ通りニ有之候處本年四月卅日附羅公第三號拙信所報ノ交渉以後五月十五日同省外務次官ヨリ別紙第一號寫ノ通り右

ノニシテ何等漁業ニ從事シ居リタルモノニアラザルガ故ニ該事實ハ反對ニ同船舶ガ密輸出ニ從事シ居ラザリシ事ヲ證スル次第ナルガ尚ホ別紙第四號ハ從來ニ於テモ近藤ガ斯ル行爲ヲ爲シタル者ニアラズ、從テ其以前ノ所行ヨリスルモノ何等違反ヲ推定シ得ベキモノニアラザル事ヲ證明スル材料ト被存候

仍テ本官ハ閣下ノ政府ガ双方ノ事情ヲ明ニセラレタル今日、本件ニ關シテ正當ノ決定ヲ與ヘラレンコトヲ希望シ且ツ右御決定ノ場合其孰レニ利益ナルヲ問ハズ、其結果本官迄御通知相成候様希望致候

此段前謝御依頼旁本官ハ此ノ機ニ際シ玆ニ閣下ニ向ツテ重ネテ最高ノ敬意ヲ表シ候 敬具

註 別紙訳文ヲ省略ス

三七一 八月一日

在墨國太田臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

墨国官憲ノ亜細亜号抑留ニ付墨国政府トノ交渉其後ノ成行ニ關スル件

附屬書

七月二十六日太田臨時代理公使發在ロスアンゼルス大山領事宛羅公信第四号

「ボート」ハ遠カラス所有者ニ還付ノコト可相成旨回答有之候得共直チニ其言ニ信ヲ措クハ聊カ不安ト感シタル爲メ其後同次官ニ面會ノ際右ハ勿論國務省ノ見込トシテ確定セルモノナルベキニヨリ大凡何時頃還附實行ヲ見ルベキヤモ併セテ承知ノ上被害者ニ申聞度旨語リタル處同次官ハ今一應研究致シ度ニ付被害者ニ對スル報道ハ暫時見合セ與レヨト依頼セラレ其後六月十三日ニ至リ別紙第二號寫ノ通り本件ニ關スル裁判ハ進行中ニシテ終結ニ近ツキツアル旨ヲ述ベ聊カ前回ノ書面ト主題ヲ異ニセル書面ヲ差越シ候而シテ時恰カモ低加州知事「カンツー」ハ中央政府ノ命ニヨリ上京スルヤノ風説ヲ耳ニセル爲メ果シテ同知事ニシテ來都スルニ於テハ今一層確實ナル報道ヲ得ベキ方法モアランカト考ヘタルニヨリ右往復ハ當時貴官等ニ示スヲ差扣ヘ今日ニ至リタルモ「カンツー」來都ハ未ダ事實トナラザルノミナラズ兩三日來ノ新聞ハ却テ此事ナキ旨ヲ報シ居ル始末ナルニヨリ玆ニ右往復ヲ貴覽ニ供スルコト致シ候間近藤ニ御内示ノ上事實裁判ニ繫屬セルヤ果シテ然ラハ如何ナル進行ヲ爲シツツアリヤ注意致シ候様御申聞相成場合ニヨリテハ其模様當方ニ御通報相成度此段申進候也

(本信寫送付先 本省大臣)

註 墨国國務省外務次官来翰原文ヲ省略シ添附越シノ訳文ヲ次

ニ採録ス

(別紙) (一) (二)

(一)

第一号写

墨国々務省外務次官来翰訳文

千九百十七年五月十五日附

太田臨時代理公使宛

エ、ガルサ、ペレス

以書翰致啓上候陳者日本臣民近藤政治氏所有ガスリン短艇
亜細亞号ノ件ニ関スル貴簡ニ対シ本官ハ更ラニ至急電報ヲ
以テ低加州北区長ニ対シ可成速カニ近藤氏ノ利益トナルヘ
キ様本件ノ解決ヲ計ルヘキ旨訓令致置候ニ付遠カラス右短
艇ハ所有者ニ還付セラルコトト相信シ候コトヲ貴下ニ通
報スルノ光榮ヲ有シ候

本官ハ此機ヲ利シ貴下ニ向テ重ネテ敬意ヲ表シ候 敬具

(二)

第二号写

墨国々務省外務次官来翰訳文

千九百十七年六月十三日附

公信第四号往信写ニテ御承知ノ通りニ有之候処今回同外務
次官ヨリ右ハ愈解放ノコトト相成リタル旨通知有之候ニ付
別紙写ノ通り在羅府大山領事ヘ及通知置候間御承知相成度
此段及報告候 敬具

(附屬書)

十月二十二日在墨國太田臨時代理公使發在ロスアンゼルス大山
領事宛公信寫

羅公信第七號

大正六年十月二十二日

在墨臨時代理公使 太田 爲吉

在ロス、アンゼルス領事 大山卯次郎殿

亜細亞號事件終了ニ關スル件

亜細亞號ノ件ニ關シ本年六月十三日當國々務省外務次官ヨ
リ本件ニ關スル裁判ハ目下進行中ニシテ終結ニ近ツキツツ
アル旨申來リタル迄ノ成行ハ本年七月廿六日附羅公信第四號
拙信ニテ御承知ノ通りニ有之候處其後近藤ヨリ別紙第一號
ノ通り申出タルニヨリ更ニ第二號ノ通り國務省ヘ照會致置
候處今回同外務次官ヨリ別紙第三號譯文ノ通り本件ハ聯邦
裁判所検事局ニ於テ密猟ニアラス從テ船舶ハ解放スヘキモ

太田臨時代理公使宛

エ、ガルサ、ペレス

以書翰致啓上候陳者去ル五月十九日附低加州北部知事ノ公
信ニヨレハ近藤氏ノ事件ニ関スル裁判ハ引續キ進行シ終結
ニ近ツキツアル趣ニ有之候ヘハ近キ内ニ判決ヲ下サルル
コトト相信シ候

右御通知旁本官ハ茲ニ重ネテ貴下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬具

三七二 十月二十二日

在墨國太田臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

墨国官憲抑留ノ亜細亞号解放ニ決定ノ件

附屬書

十月二十二日太田臨時代理公使發在ロスアン
ゼルス大山領事宛羅公信第七号写

公信第二七二号

(十一月二十七日接受)

大正六年十月二十二日

在墨臨時代理公使 太田 爲吉 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

亜細亞号事件ニ関シ本年六月十三日當國々務省外務次官ヨ
リ右ハ裁判進行中ニシテ終結ニ近ツキツアル旨申來リタ
ル迄ノ成行ハ本年八月一日付通信第一八三号拙信附屬羅

ノナリトノ檢事ノ論告ヲ是認シ原地方裁判所ニ事件ヲ下戻
シタル旨通知有之候ニ付右ノ趣近藤ヘ御通達相成度此段申
進候也

(本信寫送付先 外務大臣)

(別紙) (一) (二)

(一)

第一号写

亜細亞号所有者近藤政治ヨリ太田臨時代理公使宛書面写

在墨国日本帝國代理公使 太田為吉閣下

「エム、ケー」漁業会社代表者 近藤 政治

大正六年九月十四日

拝啓益々御清穆奉慶賀候陳者本社所有船亜細亞号ノ件ニ就
而ハ一方ナラス御高配ニ預リ深謝ノ至リニ奉存候御問合セ
ノ其ノ後ノ經過ニ就キ早速御報告可致筈ノ処當時小生ハ御
地ニ出向致ス心組ニテ御拝顔ノ上万事陳述可致存居候処事
業ノ都台上至急出立致シ難キ事情有之欠礼致候段何卒御寛
恕被成下度候其ノ後小生ハ再三「エンセナダ」港ヘモ出張
致シ同地税関並ニ裁判所ニモ証拠書類ヲ見セ候処何レモ本
社ノ取リタル手段ノ正當ナルコトヲ認メ居候然ルニ當時該
地ニ於ケル District Attorney 新任セラレ本件ニ関シテハ

既ニ御地ニ於ケル Attorney General ノ許ヘ申請シ其指図ヲ待チ居ルノミナリトノコトニ候
右様ノ次第二有之候ヘバ公務御繁忙ノ折柄誠ニ恐縮ニ有之候ヘトモ Attorney General ニ御会見ノ上本社ヘ亜細亜号ヲ至急返還致ス様御尽力仰ギ度此段奉懇願候小生モ種々ノ要件ニテ近々御地ニ出向致度存居候ヘバ其内ニ御拝顔万々御礼申上ルノ機有之コトト存候

先ハ取敢ズ右御報告旁御尽力相仰ギ度如斯御座候 敬具

(二)

第三号亨

墨国々務省外務次官来翰訳文

第一〇六一号 千九百十七年十月十九日

以書翰致啓上候陳者去ル九月二十七日附第五号貴翰ニ関シ漁船亜細亜号ヲ以テ為サレタル密輸出并ニ密獵犯罪事件審理ノ為メ低加州地方裁判所ニ繫属セシ事件ハ同裁判所附聯邦裁判所代表者ガ為シタル論告即チ本件ハ之ヲ受理スベカラザル旨ノ要求ヲ再審スル為メ共和国聯邦裁判所檢事局ニ回付サレ居タル処同局ニ於テハ右ノ論告ヲ是認シ本件ヲ原裁判所ニ返付セル旨今回檢事総長ヨリ通知有之候ニ付本官ハ玆ニ貴下ニ対シ之ヲ通牒スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ玆ニ重ネテ貴下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

註 別紙第二号及右墨国國務省外務次官来翰ノ原文ヲ省略シタリ

事項一二 露国革命前ノ内政關係雜纂

三七三 一月二日 在ベトログラート小田切少将ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

露国ノ政情及ラスプーチンノ暗殺ニ関シ報告

ノ件

第一六九号

議會停会ノ原因ハ十二月十九日莫斯科ニ於テ地方会及都市同盟大会ヲ開カントセルニ対シ内務省ハ之ヲ許サズ然ルニ既ニ通牒ヲ發シタルニ依リ開会セントセシモ警察官会場ニ入ルヲ許サザリシ議會ニ於テ之カ質問ヲ為サントシ政府ハ秘密会ニセンコトヲ要求シ左党ハ之ヲ公開セントセシ折宮廷内ニ勢力ヲ有セシ僧官「ラスプーチン」ハ「ユスポブ」公爵ノ邸内ニテ暗殺サレタリトノ説アリシカ一日其屍体ハ「ネバ」河支流ニ於テ発見セラル有力ナル新聞モ彼カ生前ニ於ケル経歴ヲ叙シ前内相フォストフ及現内相プロトポポフノ任免モ彼ノ容喙ニ出ツルコトヲ記セリ今次議會ニ於テ「ミルコフ」及「プリシケウイチ」等ノ有力議員カ彼ノ

弾劾ヲ要求セル以来世間ノ彼ニ対スル注目ハ一層切トナリ遂ニ今次ノ事變ヲ見ルニ至リシナリ、「ミルコフ」モ暗殺セラレントセントノ風説アリ政界ノ現状不穩ナリ

三七四 一月四日 在モスコイ平田総領事代理ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

ラスプーチン暗殺事件ノ人心ニ与ヘタル反響
及其政局ニ及ボス影響ニ関スル件

第一号 (一月六日接受)

ラスプーチン暗殺事件ハ当地人心ニモ非常ノ感動ヲ与ヘ平素穩健ノ態度ヲ失ハサル「ルースキヤ、ウキドモスチ」モ二日ノ社説ニ於テ吾人ハ彼ノ死ニヨリテ我政治界ニ於ケル所謂隠レタル力ノ根源若クハ少クトモソノ有力ナル機關ヲ除去スルヲ得タルモ此ノ如キ人物カ一国ノ政治上ニ大ナル勢力ヲ振ヒタル事実ハ以テ如何ニソノ統治組織ノ紊乱セルカヲ察スルニ足ルモノニシテ速ニ国民ノ信頼ニ価スル新組織ヲ以テ之ニ代フルニ非ザレハ遂ニ亡国ノ非運ヲ見ルノ外